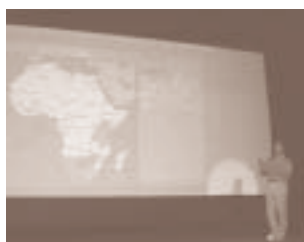


地球市民国際理解講座を開催

北方圏センターでは道民一人ひとりに国際的な視野を持っていただくことを目的に、『地球市民国際理解講座』の開催を年6回予定しているが、その第1回目が7月27日（金）長万部町との共催で同町学習文化センターにおいて開催された。講師にはJICAの青年海外協力隊OBの立石喜裕氏をお招きし、ケニアでの派遣体験から学んだ『地球市民』という考え方や身近な国際協力の大切さについて講演していた。

立石講師は、「現在の日本にはモノ



地図を示しながら話す立石講師

が溢れており、その原材料の殆どは開発途上国からの輸入に頼っている。その

エゴが現地の環境破壊や住民の貧しい生活を引き起こしている」と、我々の豊かさがどこかで彼らの貧しさに繋がっていることを指摘し、その意味では海外に行くことだけが国際協力ではなく、むしろ日々の暮らしの中で開発途上国に貢献できることの方が多く、また、こうした他人のことも自分のこととして捉える『地球市民』という考え方が重要であるということをお話された。参加者の多くもその趣旨に共感し好評の内に講演は終了した。（交流部）

「国際協力フェスタ」を開催します

8月10日に、国際協力フェスタ実行委員会が発足し、現在開催に向けて準備が進められています。今年も、昨年同様、サッポロファクトリー（札幌市中央区北1条東4丁目）を会場に、10月20日（土）～21日（日）に行われます。



昨年の「国際協力フェスタ2000」から

講演会やシンポジウムのほか、民族衣装のファッションショーやエスニック屋台、チャリティーバザーなど楽しいイベントが企画されています。楽しみながら「国際協力」について知ることができる良い機会です。是非、会場に足を運んで下さい。（国際協力部）

紹介パンフレットが完成

このほど、北方圏センター紹介パンフレットを一新した。

特に、北海道の国際化とともに北方圏センターが歩んできた歴史を振り返りながら、北海道の国際化推進

の道標ともいえるべき「北方圏構想」の歩みを紹介している。また、現在北海道の中核的な国際交流団体として、活動内容の紹介や近年の調査研究報告書のデータも記載した。

なお、ご希望の方は北方圏センターに直接お越しいただくか、郵送にて配布いたします。（総務企画部）



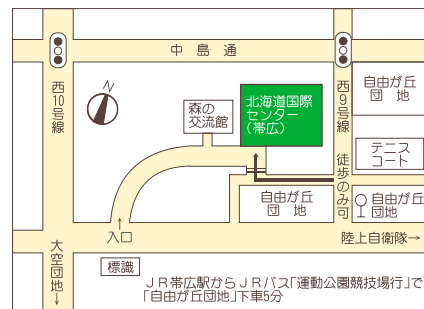
表紙にシンボルマークをデザイン

（北方圏センターは、国際協力事業団北海道国際センターの管理運営を委託されています）



北海道国際センター（札幌）

〒003-0026 札幌市白石区本通り16丁目南4番25号
TEL 011(866)8680 FAX 011(866)8425



北海道国際センター（帯広）

〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL 0155(35)2161 FAX 0155(35)2213

本紙の送付をご希望の方、また各地の情報やご意見など下記宛にお寄せください。

国際協力情報紙「であい」第22号

発行日・2001年9月5日

発行・社北方圏センター 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道庁別館12階
TEL011(221)7840 FAX011(221)7845 <http://www.nrc.or.jp>

E-mail address pbl@nrc.or.jp（出版部） intc@nrc.or.jp（国際協力部）

発行者・林 敏明 印刷・株総北海